

熊谷市防災行政無線（固定系）デジタル化プロポーザルの選定結果について

本市では、デジタル化整備事業の実施に当たり、電気通信工事業者の持つ最新技術や豊富な経験に基づく、創意工夫などを最大限活用するため、公募型プロポーザルによる設計、工事及び保守事業者の選定を行いました。

選定に当たっては、選定委員会を設置して厳正な審査を行い、株式会社富士通ゼネラルを最優秀提案者として選定しました。

また、市はこれを受けて、この事業者を契約候補者に決定しました。

1 プロポーザルの経緯

- (1) 平成 25 年 11 月 28 日 第 1 回選定委員会（実施要領（案）、日程等）
- (2) 平成 25 年 12 月 12 日 公募開始
- (3) 平成 26 年 1 月 29 日 提案書提出期限（5 事業者提出）
- (4) 平成 26 年 2 月 5 日 第 2 回選定委員会（第一次審査（書類審査）、上位 3 事業者を選定）
- (5) 平成 26 年 2 月 26 日 第 3 回選定委員会（第二次審査（ヒアリング）、最優秀提案者等を選定）

2 プロポーザルの選定結果

- (1) 最優秀提案者 株式会社富士通ゼネラル
- (2) 優秀提案者 日本電気株式会社
- (3) その他参加事業者 株式会社日立国際電気
パナソニックシステムネットワークス株式会社
三菱電機株式会社

3 選定理由

技術提案は、各事業者とも要求水準を満足する中で、最優秀提案者並びに優秀提案者の提案では、デジタル操作卓からアナログ無線機も一元操作できる提案となっています。また、各事業者とも遠隔操作卓以外からデジタル操作卓を遠隔操作することができることや、1 回の操作で複数メディアへの情報発信が可能な提案がなされておりました。

最優秀提案者の株式会社富士通ゼネラルは、現行の防災無線室での工事完結や長寿命バッテリー等の採用による経費削減、保守点検費用と回数及び難聴地域対策など他事業者よりも高い提案がされ、総合的に高い評価となりました。さらに、地元企業への下請け発注の提案も具体的かつ発注割合が高く、地元貢献が非常に期待できる内容であり、防災行政無線（固定系）デジタル化整備事業として総合的に最も優れた提案内容と認められました。

なお、全選定委員が、この事業者の提案を最も高く評価しました。

4 プロポーザル選定委員会の委員構成

安藤真（東京工業大学大学院教授）、郡山智行（一般財団法人高度映像情報センター）、石田憲一（埼玉県危機管理防災部消防防災課）、嶋野正史（副市長）、建川崇嗣（市長公室長）、田所隆雄（建設部長）及び須賀忠（消防長）の 7 名で構成。

5 担当部署 市長公室危機管理室